



題字は松井岳洋筆

No.391

平成20年9月

発行

(社)日本詩吟学院岳陽会 認可

碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 伊藤岳光

神奈川県葉山町堀内206

Tel/Fax. 046-875-3723

私が審査業務部長？

審査業務部長 小野 祥 岳

審査業務部長って御存知ですか？。

昇段試験の時、年二回お手伝いすれば良いからと云われ何気無く副部長を受けた2年前、上村部長（現副会長）の指示通りに動き2年間大過なく過ごしましたが、行き掛り上部長と云う大役を今年度から引受けることになり責任の重さにとまどっている昨今です。会長をはじめ諸先輩の指示に従い右往左往して居りますが、引受けた以上皆様方に納得して頂ける部にする様努力したいと思います。

とは云うものの試験は昔から負担で誰もが緊張するものだと思います。先生方は日頃勉強の成果を...とおっしゃいますがその場に立つだけで手足が震え頭の中は真白と云う経験があります。定められた審査をどうしたら安心して受けられるか皆様御提案下さい。審査業務部で出来ることは努力致します。

碩心会普及部です、こんにちには！

普及部長 佐藤 英 山

会員皆様の吟道精進を支援するため碩心会には様々な事業組織があります。普及部もその一つで、『吟道の普及』がその役割です。

ところで、普及と聞くと、直ぐに「新会員を増やすこと？」と考えがちですね。勿論それもありませんが、普及部では、身近な詩吟普及とは、『会員の皆様が、詩吟を楽しむ姿を回りに見せること』だと考えました。

詩吟を始めたきつかけを尋ねますと、『健康や老化防止に良く、友達が増えるから楽しいよ』と勧められて参加したという方が多くいます。そうなんです、『自分が楽しいと思っていることを、是非友達にも勧めたい！』、そこが詩吟普及の原点ではないでしょうか。普及部では副部長の市川邦岳・小池和岳・原田義岳さんも一緒に、皆様の『詩吟だぁい好き』を応援します。

行事予定

詩吟体験教室 Let's SHIGIN!

日時・10月18日(土) 午後1時～2時30分

場所・逗子市民交流センター 2F-4

鎌倉市詩吟舞連盟秋季大会

日時・10月19日(日) 9時30分受付

場所・レイ・ウエル鎌倉

葉山町詩吟舞連盟文化祭

日時・10月25日(土)

11月1日(土)・2日(日)・3日(月)

場所・葉山町福祉文化会館

逗子市詩吟舞連盟文化祭

日時・11月16日(日) 9時30分受付

場所・逗子文化プラザなぎさホール

皆伝会

日時・11月23日(日) 9時30分受付

場所・葉山町福祉文化会館大会議室

逗子大船地区吟道温習会

日時・11月30日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館ホール

冠稱授与

(平成20年7月1日付)

宗師 加藤岳洵 中村岳郵

宗匠 杉山岳雪

宗佑 磯村岳朋 石川岳豊 宇都宮岳徳

昇伝段位認許

(平成20年7月1日付)

(皆伝 4名)

163 水留祐岳

164 行谷隆岳

165 山本新岳

166 黒田慶岳

(九段 3名)

139 根岸京岳

140 矢島綾岳

141 矢嶋合岳

(十段 4名)

112 徳本華岳

113 石黒恵岳

116 福本香岳

118 神藤葉岳

(総伝 1名)

66 知久岳萌

輔翼の人

鈴木 岳楠先生



7月26・27日の両日総本部夏季吟道基礎講座が東京日本教育会館で開催され、木部新理事長から標記講話がありました。

鈴木岳楠先生は元副理事長で木村岳風先生・渡辺初代理事長をお助けしました。岳風先生が失恋された時は稽古もできない状態だったので2人は江の島に行き、夜飲酒して共に行動した時、新聞記者に発見され報道されましたが、親しみある人間味ある2人でした。また、渡辺先生と岳楠先生の関係は当時新国劇の島田正吾、辰巳柳太郎にたとえて吟界の

新国劇と言われる程の良い関係にありました。

先生は忠勤楠公を崇拜し「忠勤」は好きな言葉でした。常に力一杯吟じ、気持の入らない吟には厳しく指導されましたが、後年癌に侵されて声が出なくなりました。弟子達は先生主催の会を是非持ちたいと吟道報告35周年大会を計画しました。声が出ないので代吟を予定していましたが何とかやれそうだと吟じられた吟を聞かせて頂きました。全身から出る情感溢れる棄児行、娑婆歌の吟に深い感動を受けました。

その後声は出なくなり、食べられなくなりましたがそれでも、先生の吟にかける情熱は人一倍強く、「吟道は詩歌を吟詠すればよいということではない、吟詠することによって学んだもの、得たものが日常生活の中に生々と働いてこそ吟道と言える。決して声や詩の吟道家になるのではない」と言われました。また、「麻中の蓬 自ら直す」とも言われました。蓬は曲って生えてくる。麻は真っ直ぐ伸びて行く。性質が曲っていても周りに麻が入っていると麻に連られて蓬は真っ直ぐ伸びる。吟道という麻を身近において正しい道を進んでもらいたい。曲ることのないよう修練してもらいたいと強く言われた旨の感銘深い先人講話がありました。

広報部 高見

夏季吟道講座

8月17日(日)は久しぶりの雨、涼しさも加わって出席者の出足もよく会場の葉山町福祉文化会館大会議室に、受付開始(9時10分)には出席者はほぼ集合したような状況でした。

9時40分根岸教務部副部長の開会の挨拶に始まり、行谷教務部長の先導で碩心会詩吟のあと会長挨拶、講師紹介がありました。

第1講・上村副会長より和歌2題「白鳥は」「海べりの雪」、俳句「秋のくれ」の指導があり、第2講・矢島瑪紅美先生の「呼吸法と身体の重心のあり方について」の講義があり、指名された2名づ、壇上で実技を体験しましたが、重心のかけ方・呼吸の速度等の難しさを感じた次第です。

第3講開始前に冠稱・高段者許証の授与がありました。

第3講・内山副会長による律詞「咸陽城の東楼」。

第4講・会長による韻続入り「悲恋毬藻の歌」の指導があり、最後に講師に対する質疑応答があり、大坪教務部副部長の閉会の挨拶で無事終了しました。

アッと云う間の一日でしたがテープに収める方も数多く見られ、出席者(90名)には大きな収穫であったことと思われまます。

広報部 人見

平成二十年八月

被贈宗佑有感

宇都宮 岳 徳

吟道研鑽三十年 吟道研鑽して三十年
蘭交結得詠詩縁 蘭交結び得たるは詠詩の縁
冠稱宗佑一家喜 冠稱宗佑は一家の慶び
不測榮譽心豁然 不測の榮譽に心豁然たり
(大意)

吟道を研鑽して三十年となります。その間、蘭の香の様な友と交われたのは詩吟のご縁です。今度、宗佑の冠稱を賜ったのは我が一族の喜びです。考えてもみなかった榮譽に心からりとひらかれる思いです。

神奈川岳風連合会吟道大会

真澄支部 佐藤 岳 由

去る8月23日。曇天ながら秋を思わせる涼しいこの日、横須賀市文化会館に於て、標記大会が盛大に開催されました。

神奈川岳風連合会19団体旗のもと、独吟、合吟、連吟コンクールと、日頃の研鑽の成果が遺憾なく発揮されました。又構成吟「三浦一族の興亡」は、鎧姿の武士が登場し、吟に舞に華やかに舞台が練り広げられとても素晴らしく感動いたしました。今後の連合会の更なる発展を祈り、次回大会での再会を約して、無事閉会されました。

詩吟について思う事

眞風支部 菊池 捷 山

私が詩吟を始めるきっかけとなったのは、長年の現役を引退するに当たり、何かこれからの余生を意欲的、且つ、有意義に過ごしたいと思い、それには、ぼけてはいられないと思つたからです。

詩を覚えること、大きな声を出すことは何より老化防止にもなると思いと、妻からの勧めもあり習い始めた次第です。

思い起こせば少年期私は詩が好きで、当時漢詩をよく暗記した事や、漢文の時間に吟じさせられた事などを思い出し、改めて詩に対する関心がでてまいりました。

余談ではございますが、いまだに同窓会では当時より50有余年が過ぎましたが、何人かの友人が今も詩吟を吟じ合い、大変楽しい時間を持つ事があります。時が過ぎ、詩は変わることもなく吟じ継がれるものなのだと思いを感慨深く感じます。

こうして考えると、詩吟とは、歴史、文化を後世に伝えて行く偉大な文化であると思ひ、私もこの世に生まれ、たくさんの吟友とご縁で今の世代を共に生きるお仲間として、これからも一層研鑽いたしまして皆様とご一緒に詩吟を後世に伝え、引継ぎたいと思つております。

「母に学ぶ」の返信

碩心20年7月号を読まれた伊藤泰風様のご母堂から泰風様への激励の書面が届きましたのでご本人の了解を得て紹介致します。90才になられるお母様がお元気に頑張っていられる姿が目には浮びます。 広報部 伊藤



先日は碩心会会報有難うございました。

色々盛大に行事が行なわれ先生方も大変御苦労の事と思います。

貴女も趣味の一つとして、年老いてもグループを必要とせず一人でも楽しめます、気分わず、あせらず永くつづけて下さい。

吟は先づ素読を何回もする、そして紙切に何回も書く、漢字が思い出せなければひらがな・カタカナ何でも良いから書くことです。

私は風呂の湯につかっている時タイトルに指で「山川草木」とか「少年老い易く」、とか解っている詩を何回も書いています。

教室では間についてきびしく言っています。アルプスの女がアルプスの女にならない様にと平均年齢83才、18人むつかしいですが少しでもボケがおそく来る様に頑張っています。

最近ふと、目にした小冊子より

顧問 千葉 岳 関

しばらくぶりに、町の本屋へ立ち寄った。ふと、目にしたのが「四書五経 一日一言」なる小冊、四書五経と言えば、吟道を志した者には、入門当初から解説を受けたなじみのものだ。いわゆる孔子を中心として作られた古代の書である。四書の中でも最も重要と考えられている論語は、孔子の言葉を門弟たちが編輯したものと言われている。これらは人類に普遍の価値を持つものとして、日本人にとっても大切なものとされてきた。

これらの古書の説明に述べられている幾つかの言葉が私ども吟道を志す者にとって大変有益なものであり、強く感じたものの中からその一、二をあげてみたい。

その一、「礼の用は和を貴しと為す」(論語)

その意は、礼儀の効用は和を保つことにある。礼儀を重んじる必要を言っているわけだが、それが和を保つのに大きな役割を果たすということである。そこで思い起こすのが「和をもって貴しと為す」と言う我が国の先達、聖徳太子の御言葉である。

もう一つあげてみたい。

「一日これを温め、十日これを冷さば未だよ

く生ずる者あらず」(孟子)

その意は、一日温めても、すぐに十日も冷してしまつたらどんなものでも成長できない。同様のことは勉強でも言えること、幾ら一日猛烈に勉強しても、そのあと十日も休んでしまつたなら身につくことも身につかぬと言ふことだろう。私ども吟道を志している者もって肝に銘じ、日常反省すべき事柄ではないだろうか。他にも教えられる事項は数多く述べられてあるが、特に読後強烈に印象に残つた二つのことをあげさせて頂いた。

なお、四書五経の細部は、またの機会に勉強してみたいと念じているものである。

詩吟について思うことの投稿依頼

頃心9月号から「詩吟について思うこと」を掲載しました。

皆様が詩吟を志した動機、現在の心境、将来に向けての決意等について自由な内容で投稿して頂き、会員皆様が詩吟の素晴らしさを再認識して頂ければと願っています。

原稿は支部名、雅号を1行に収め、本文24行程度(400字詰原稿用紙)でお願いします。

一色・伊藤 篁風・高見

悠吟・人見 までお願いします

会員のうごき

- *入会
 - 339 新田 拓作 (渚) 鎌倉市大船1丁目20-2 ☎0467-46-1594
 - 340 岩瀬 良一 (長柄) 葉山町長柄1461-172 ☎046-875-0880
- *退会
 - 26 矢沢岳峰 (晴誉) 92 嵐田光岳 (晴誉)
 - 123 佐々木邦岳 (晴誉) 168 渡辺紅風 (晴誉)
 - 174 中尾邦風 (晴誉) 180 寺岡榮風 (東伏見)
 - 194 高橋俊風 (晴誉)
- *所属支部変更
 - 62 大坪岳久 真名瀬 → 一色
- 晴誉
 - *支部長変更
 - 194 高橋俊風 → 87 森 咲岳

編集後記

北京オリンピックも沢山の感動を残し閉幕しましたが、五大陸の平和と協力を表わす五色の輪を中央に配した五輪旗は何を見、思っている事でしょうか。色々と考えさせられた大会でもありました。

今夏は猛暑でしたがすつきりと疲労を回復して元気に下半期をスタートしましょう。

広報部

20年	9月	現在	会員数
葉山	地区	125	名
逗子	大船地区	94	名
合計		219	名